

広島大学平和科学研究センター平成 28 年度第 1 回国際シンポジウムを開催

日時：2016 年 7 月 30 日 10:00-16:45

場所：東千田未来創生センター

タイトル：アジアにおける平和構築の課題

シンポジウムは 2 部制で、第 I 部「アジアにおける平和構築の経験」では、広島大学大学院国際協力研究科の山根達郎准教授のモデレーターのもと、UNITAR 広島事務所の隈元美穂子所長、上智大学の東大作准教授、広島大学大学院国際協力研究科の片柳真理教授が、第 II 部「アジアにおける平和構築の課題と展望」では、広島大学平和科学研究センター長の西田恒夫特任教授のモデレーターのもと、ダニエル・イノウエ・アジア太平洋安全保障研究所の Daniel Leaf 所長、ローウィ国際政策研究所の Anthony Bubalo 副所長、国連平和構築支援事務所の山下真理次長が議論した。基調講演として作家の宇田川悟氏にお話頂いた。シンポジウムを通じ、アジアにおける平和構築の事例とその課題、そして今後の展望について活発な論議がなされ、若者や女性の活躍の重要性などが指摘された。



I 部で講演する隈元所長



II 部の討論で意見を述べる Bubalo 所長